

令和6年度 第5回 藤沢市立鵠洋小学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2025年2月27日（木）10時～12時
場 所 鵠洋小学校 相談室

出席委員	河村 満 会長／鵠沼ふれあいトライアングル 代表 亀本 淳夫 副会長／鵠洋小学校 校長 坂田 千鶴代 鵠沼南地区民生委員児童委員協議会 副会長 徳永 理加 鵠沼南地区民生委員児童委員協議会 主任児童委員 寺田 言子 鵠沼地区青少年育成協議会 浪川 征子 どんろんこ児童クラブ 代表 上田 舞子 鵠洋小学校PTA 代表 山口 秀俊 鵠沼市民センター センター長 植松 梢 鵠洋小学校 教頭 奥濱 佳那 鵠洋小学校 学校運営協議会 コーディネーター 出席委員：10名（欠席委員：吉田 正彦、後藤 洋平、駒場 亜以） 事務局：亀本 淳夫（鵠洋小学校校長）傍聴人数：0名
次第	1 開会 2 会長挨拶 3 議題 (1)学校の近況と現状の課題 (2)学校支援について (3)学校評価について (4)防災教育への取り組みについて（ファーストミッションボックス） (5)1年間を振り返って 4 閉会
協議内容	（1）学校の近況と現状の課題 ・亀本副会長 感染症の蔓延もなく3学期は学級閉鎖もない。子どもたちは元気に過ごしている - 来年の児童数や学級数は、現時点では減る予定 - しかしながら、新3年生の転入が増えており、あと数人増えるとクラス増となる - 建設中のプレハブ校舎は、3クラスが入る予定なので、図工室は元に戻す - 前回課題として挙げたことについて、説明させていただくと、 ＊バスを使った校外活動の際の児童解散場所 引き続き八部公園を利用 - お別れ遠足では、保護者に車のお迎えを控えるよう呼びかけ、協力いただいた

次年度も、その都度、車での迎えを控えるよう、呼びかけていく

＊南門について

利用したい家庭数は50以上あった

一定数いるので応えていく必要があると考えている

保護者アンケートに記載があった課題は、「バス道路なので見守りが必要」「横断歩道を作れないか」の2点

南門を開けることには、リスクもあるので、職員で検討中

おはようボランティアの方々に、南門開放の際、朝の見守りが可能かどうか確認し、何人かの方から可能であるとの返事があった

しかし、放課後は、児童の下校時刻が学年によってまちまちなので難しい

下校に関しては、一斉下校以外は閉める方向で検討している

その他の課題については、警察やKFPにも検討してもらっている

＊PTAの旗振りポイント

16か所から1か所に減らした

その代わり、中岡交差点については、毎日誰かが立照るように配置する

保護者の負担軽減に対する要望もあるので、ご理解いただきたい

なお、子どもたちへの交通安全指導は家庭でも協力をお願いしたい

校内巡回：「1年生まつり」の見学

本日、ちょうど近隣の幼稚園、保育園の子を招待した「1年生祭り」を開催している

見ていただいた感想をいただきたい

- ・ 河村会長 クラス単位ではなく、児童の希望する出し物によってグループ分けし、決まった時間内で準備していることが素晴らしい
広い校舎や体育館で遊べる機会は、幼稚園等では経験できないことなので、貴重な経験になるのではないかと
- ・ 浪川委員 児童クラブでも同様にお祭りを開催しているので、その経験が生きているなと感じた
1年生は学年が上がるので、上の学年になる気持ちが作られるのではと感じた
- ・ 亀本副会長 幼稚園から、小学校と交流したいとの依頼があるのだが、予定を合わせるのが難しいところもある
1年生にとって、上の学年に上がる気持ちの確認にもなる行事なので、恒例行事として、引き継いでいってほしい

(2) 学校支援について

- ・ 亀本副会長 ＊2年生図書館見学
図書館見学については、KFPに目的地までの見守りを、民生委員には付き添いをお願いしている
＊卒業式、入学式準備

3月18日の14時から1時間程度式場準備と清掃をお願いしたい
なお、卒業式入学式の来賓については、昨年、市議会議員を来賓として招いた
今年度は、児童クラブの方々にも参加してほしい

(3) 学校評価について

- ・ 亀本副会長 学校評価特別号を参照
どの評価についても、概ね例年より少し良くなっている
コミスクをとおして、皆様にお力添えいただいたおかげで、高評価に繋がったと考えている
気になる点は2つ
一つ目は、学校が楽しくないと回答している子がいること
少数であっても見過ごすことなく、子どもたちをしっかりと観察し、見守っていく
二つ目は、登下校の安全についての意識
保護者や子どもは、良くてできていると評価しているが、学校側の感覚とかなり差がある
今後も、保護者に向けて、児童の安全について呼びかけていく

(4) 防災教育への取り組み

- ・ 亀本副会長 一年を通し学校だよりで地震災害への心構えについて発信してきた
大地震がここ30年で起こる可能性は80%だと言われている
鵜洋小は避難所として指定を受けているが、震度7以上の地震が起これば、ブロック塀等の倒壊もあり、物資を運ぶ車が入ってこれるのか心配である
なので、前回、家庭で備蓄をお願いする発信をした
学校の備蓄については、物資を保管する場所がないので、児童一人に対して、若干の水と「えいようかん」しかない
また、大災害が起きた場合、市外にいる保護者は、交通マヒ等で、引き渡しに来られないことが推測される
場合によっては、1日以上、学校で預かることも予想されるので、そうなった場合の児童を預かり方を学校で検討を重ねなくてはいけない
大災害が起きた場合の連絡方法（災害用伝言ダイヤル171）についても学校だよりに記載した
相手方の電話番号を記憶しておかなくてはならないため、実際に児童が利用するのは難しい
子どもがわかる連絡方法を家庭で話し合ってほしい
2月2日に市民センターと避難所開設訓練を行った
地域の方20人くらいが参加してくれたが、やってみて分かった課題が多数でてきた
例えば、パーテーションセットの不足
布団代わりになるマットもたいした量ではない
そして、なにより一番の課題はトイレ
簡易トイレを組み立てたが、大人5、6人掛かりで20分程度かかった

トイレを覆うカバーの脆弱さも問題だ
屋外に置いたらカバーがめくれ上がってしまうだろう
マンホールトイレも限界があり、避難者の数によっては、すぐにいっぱいになってしまう
トイレ用袋は備蓄があるが、児童に使わせることを考えると、スムーズできるか不安がある

- ・坂田委員 聞けば聞くほど、課題が多いと感じる
- ・寺田委員 建替をした鵜南小は、防災拠点として作られていた
地域のための備蓄エリアもしっかりあり、4階建てであることも安心に繋がる

ファーストミッションボックスについて

- ・山口委員 本日、ファーストミッションボックスの説明に、センターから担当を連れてきたので、説明を聞いてほしい
- ・センター職員 南海トラフ地震における藤沢市の被害予測としては、震度が6弱以上、津波の高さは最大7m
このような災害が起きると、藤沢市も避難所を開設する
避難所を運営するためには、「避難所運営本部」を立ち上げ、メンバーを募り避難所を運営していくことになる
ファーストミッションボックスには、避難所に集まった避難者が自分たちで迅速かつ的確な避難所開設と運営ができるよう、初めにやるべき任務を記載した指示書と、最低限必要となる資材を入れている
避難所を立ち上げるために何をどうすればよいのかも、すべてボックスの中にある行動カードに書いてあるので、万が一の時に活用できるよう、広めていきたい
- ・山口委員 取り組みの一部、避難所開設の初期行動を説明させていただいた
避難所については「避難生活を送る施設」と「初期段階に避難場所」として使う施設と分けて考えている
避難所は市の従事職員が運営する。「避難生活を送る施設」に移行していくときに避難所は自主運営となる
市の職員が来られない場合でも、まずは立ち上げまではできるかと思う
風水害は、事前にわかる災害なので準備ができるが、地震は予期できない
鵜沼はどちらの被害も気を付けなければいけない地域である
家庭でも防災について十分に話あってもらえればと思う
- ・亀本副会長 児童が学校にいる状況といない状況では、違いがある
ファーストミッションボックスに、そういった場合の指示書は入っ

ているのか

- ・ 山口委員 児童がいる場合の発災は、子どもたちを守ることは、学校が主体で決めてほしい
避難民の動きについては、現時点では、ファーストミッションボックスに指示書はないが、今後検討していく
- ・ 奥濱委員 学校の体育館には、エアコンがついていない
災害が真夏に起こった場合、空調がないと、体育館は使えないのではないか
- ・ 山口委員 藤沢市でも順番にはあるが、体育館へのエアコンの設置を行っている
災害時に電気が使えない場合でも、でプロパンで使える空調等もあるが、予算の問題もある

(5) 1年間を振り返って

- ・ 河村会長 去年からの目標としていた防災訓練ができたことが良かった
いろいろな話を聞くことができ、昔ながらの防災関連の知識だけでなく、アップデートしていくことの必要性を感じた
- ・ 徳永委員 学校の中から、学校の状況を知ることができた
外から見たことでしかわからなかったのも。学校の困りごと等、情報をもらえたことは良かった
- ・ 坂田委員 小学校の様子を見られることが良かった
改めて子育てをしている時のことを思い出した
いろいろなことを学ばせてもらった
- ・ 山口委員 近隣3校にも参加しているが、こういった組織で学校と地域をつなげていくことは大きな意味があることだと思う
- ・ 浪川委員 放課後の子どもを見ているが、学校で安心して子どもたちが過ごせるように話し合う機会を持てて良かった
児童クラブの保護者にも、ここで話した内容を伝えていくことが仕事だと思っている
- ・ 上田委員 PTA役員として参加し、いろいろな話をさせていただき勉強になった
お母さんたちとコミスクで話し合った内容を話すことで、学校が少しでも良くなっていけばいいと感じている
- ・ 寺田委員 学校の実情が知れたのは良かった
学校の課題を知り、少しずつ整理していくためのはじめての一步になれたのではないか
- ・ 植松委員 今年度、鵜洋小に着任し、校外行事等に参加する中で、地域や保護

者の方々に学校が支えられていることを実感した
大変感謝している

- ・ 奥濱委員 途中からの参加だったが、いろいろな意見を聞くことができ、また、意見を聞いていただける機会もあり、とても有意義な時間だった
- ・ 亀本副会長 2年間、学校をいろいろな角度から見ていただけたと思う
皆さん、そのまま委員を継続していただけるということなので、今後ともよろしく願いしたい
この2年間、学校にいろいろ支援していただき、安心して学校経営に当たれた
次年度以降、この状況をさらに発展できればと思う
- ・ 事務局 次回は、新年度明けになるが、交代される方、継続して携わっていただく方、どちらの皆様も、引き続き、本校の取り組みにご協力をお願いします

以 上

次回開催予定 2025年 5月23日（金）10時～
場 所 鵜 洋 小 学 校 相 談 室